

茨城県陶芸美術館 企画展

魅惑の北欧アール・ヌーヴォー

塩川コレクション

ロイヤル コペンハーゲン  
ビング オー グレンダール

*The Scandinavian Art Nouveau porcelain*

*The Shiokawa Collection*

*Royal Copenhagen and Bing & Grøndahl*

プレス・リリース

平成24年1月2日(月・祝) - 3月18日(日)



「鷺センターピース」  
ビング オー グレンダール  
1902 - 14年 塩川コレクション

あなたの知らない、もうひとつの北欧。  
(キャッチコピー)

茨城県陶芸美術館

〒309-1611 茨城県笠間市笠間 2345 番地 (笠間芸術の森公園内)

TEL 0296-70-0011 / FAX 0296-70-0012

<http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

## 1 展覧会名

企画展

魅惑の北欧アール・ヌーヴォー 塩川コレクション

ロイヤル コペンハーゲン ビング オー グレンダール

## 2 開催趣旨

A：一言でいうと（75文字）

デンマークが誇る名窯「ロイヤル コペンハーゲン」と「ビング オー グレンダール」の19世紀末から20世紀初頭に制作されたアール・ヌーヴォー磁器を紹介します。

B：もう少しでいねいにいうと（360文字）

デンマークが誇る名窯「ロイヤル コペンハーゲン」とともに、かつてそれと人気を二分した「ビング オー グレンダール」。

およそ1世紀前のアール・ヌーヴォー全盛期、ロイヤル コペンハーゲンは淡いグラデーションの釉下彩、鮮やかな虹彩を生じる結晶釉など、当時の最先端を誇る多彩な釉薬技術によって世界をリードした窯でした。動植物や昆虫など、自然のモチーフをかたどった優美なフォルムと、清澄な色合いは世界的な脚光を浴び、板谷波山ら日本の陶芸家達にも大きな影響を与えています。

本展覧会は、横浜市在住のコレクター塩川博義氏の協力を得て、これまで日本で紹介される機会の少なかったアール・ヌーヴォー期におけるロイヤル コペンハーゲン、ビング オー グレンダールの多彩な作品を一堂に展示するとともに、明治時代後半の日本の釉下彩作品も併せて紹介するものです。

C：詳細にいうと（571文字）

デンマークが誇る名窯「ロイヤル コペンハーゲン」とともに、かつてそれと人気を二分した「ビング オー グレンダール」の19世紀末から20世紀初頭に制作されたアール・ヌーヴォー磁器を紹介します。

ロイヤル コペンハーゲンといえば、白地に青一色の「ブルーフルーテッド」や「イヤープレート」のシリーズが有名ですが、およそ1世紀前のアール・ヌーヴォー全盛期には、淡いグラデーションの釉下彩、鮮やかな虹彩を生じる結晶釉など、当時の最先端を誇る多彩な釉薬技術によって世界をリードした窯でした。動植物や昆虫など、自然のモチーフをかたどった優美なフォルムと、清澄な色合いは世界的な脚光を浴び、アール・ヌーヴォーのピークといわれる1900年のパリ万国博覧会ではグランプリを受賞しています。

この博覧会を目の当たりにした日本の陶磁器業界は、旧態依然とした自国の状況との差に衝撃を受けました。デザインの刷新や釉下彩技法の習得が積極的に行われるようになり、板谷波山ら日本の陶芸家達にも大きな影響を与えています。

本展覧会は、横浜市在住のコレクター塩川博義氏の協力を得て、これまで日本で紹介される機会の少なかったアール・ヌーヴォー期におけるロイヤル コペンハーゲン、ビング オー グレンダールの多彩な作品を一堂に展示するとともに、明治時代後半の日本の釉下彩作品も併せて紹介するものです。

## 3 展示構成

出品総数 約220点

※会場の都合により、若干点数が変わることがございます。予めご了承下さい。

- I ロイヤル コペンハーゲン
- II ビング オー グレンダール
- III 結晶釉作品
- IV 日本の釉下彩

#### 4 主な作品

##### 【ロイヤル コペンハーゲン】

「植物文花瓶」1892年 塩川コレクション

「花文カップ&ソーサー」1900 - 22年 塩川コレクション

「トカゲにナメクジ小皿」1903 - 08年 塩川コレクション

##### 【ビング オー グレンダール】

「鷺センターピース」1902 - 14年 塩川コレクション

「一夜茸花瓶」1895 - 98年 塩川コレクション

「花文花瓶」1920年 塩川コレクション

「花文コンポート」1920年 塩川コレクション

##### 【結晶釉作品】

「結晶釉白熊トレイ」ロイヤル コペンハーゲン 1925年 塩川コレクション

##### 【日本の釉下彩】

宮川香山「藤文花瓶」20世紀前期

板谷波山「彩磁八ツ手葉文鉢」1912 - 13年頃 茨城県陶芸美術館

#### 5 会期・会場等

会 期：平成24年1月2日（月・祝）～3月18日（日）（67日間）

会 場：茨城県陶芸美術館 地階企画展示室

開館時間：午前9時30分から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）

休 館 日：月曜日（ただし、1月2日・1月9日は開館、1月10日は休館）

#### 6 主催・後援・助成等

主催／茨城県陶芸美術館 後援／茨城新聞社

#### 7 観覧料

一般 700(550)円／高大生 500(400)円／小中生 250(200)円

\*（ ）内は20名以上の団体料金、満70歳以上の方、障害者手帳、療育手帳をお持ちの方及び付き添いの方〔ただし1人につき1人まで〕は無料、土曜日は高校生以下無料

#### 8 関連催事 \*詳細は後日、チラシやホームページ等にてお知らせします。

○美術講演会「デンマークのアール・ヌーヴォー磁器」

平成24年1月29日（日）午後1時30分～ 当館1階多目的ホール（聴講無料）

講 師：塩川博義氏（日本大学教授）

定 員：150名（先着順・当日整理券を発行）

○ティーセミナー 「北欧の紅茶とお菓子」

講 師：先崎キヨ子氏

（ティーエキスパート協会会長・日本紅茶協会認定シニア・ティーインストラクター）

平成24年2月18日（土）午後1時30分～午後3時 当館1階多目的ホール

定 員：30名（往復はがきにて事前申込）／参加費：1,000円

応募締切：2月3日（金）必着 ※応募多数の場合は抽選となります

○ギャラリートーク

平成24年1月21日（土）午後1時30分から

#### 9 連絡先

茨城県陶芸美術館 〒309-1611 笠間市笠間 2345番地（笠間芸術の森公園内）

TEL.0296-70-0011 / FAX.0296-70-0012

展覧会担当 学芸課 副主任学芸員 花井 久穂 hanai.hisaho@mail.ibk.ed.jp

広報担当 企画管理課 副主任学芸主事 田村美穂子 kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp

写真を掲載する際には、作品キャプションを併記してください。  
画像データが必要な方は広報担当へご連絡ください。



「植物文花瓶」ロイヤル コペンハーゲン  
1892年 塩川コレクション



「花文カップ&ソーサー」  
ロイヤル コペンハーゲン  
1900 - 22年 塩川コレクション



「トカゲにナメクジ小皿」  
ロイヤル コペンハーゲン  
1903 - 08年 塩川コレクション



「結晶釉白熊トレイ」  
ロイヤル コペンハーゲン  
1925年



「花文花瓶」  
ビング オー グレンダール  
1920年 塩川コレクション



「一夜茸花瓶」  
ビング オー グレンダール  
1895 - 98年 塩川コレクション